

JICE研究開発助成



情報・企画部
首席研究員
沼尻 恵子



情報・企画部
主事
丹羽 梢

1 JICE 研究開発助成の概要

JICE では、各分野の先進的技術の研究開発を促し、住宅・社会資本整備を通じてより良い国土の利用・整備又は保全に寄与することを目的として、研究開発助成を実施している。

研究開発助成制度は、1999年度（平成11年度）に公益事業として創設され、2019年度（第21回）までに延べ276件の研究に対して助成を行った。

本研究開発助成は、建設分野のみに留まらず、人文系、社会科学系及び自然科学系の分野の研究においても社会資本整備に資するテーマであれば、幅広く研究内容を応募が可能であり、①応用研究課題、②重点研究課題の2分野の研究課題について公募を行っている。

年4月1日から2021年3月31日までの期間において研究が進められているところである。

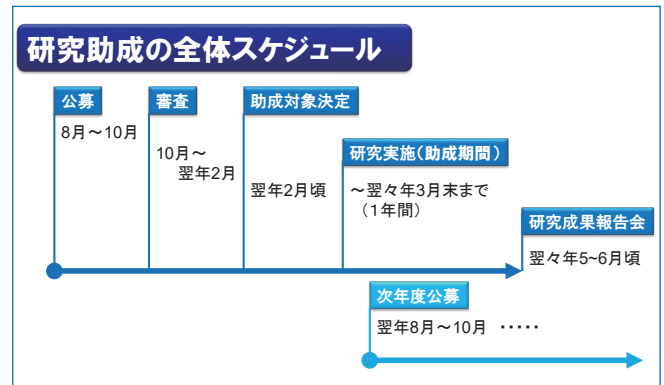


図-2 JICE 研究開発助成 全体スケジュール

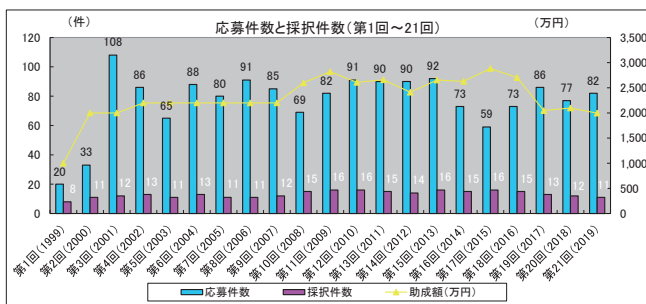


図-1 JICE 研究開発助成 応募件数と採択件数推移

2 第21回研究開発助成

2019年度の第21回研究開発助成については82件（継続研究含む）の応募を受付けた。これらの応募研究に対して、研究開発助成審査委員会における厳正な審査により優れた研究11件（継続研究含む）を助成研究として採択し、2020

3 第22回研究開発助成 募集

2020年度の第22回研究開発助成の助成対象の募集は、2020年8月1日～10月31日で受付を予定している。

助成の対象は、2019年度と同様に住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発とし、応用研究課題、重点研究課題としてそれぞれ課題を設定している。また、助成対象とする研究者は、原則として大学、高等専門学校及びこれらに付属する機関等の研究者または民間企業の研究者（学生は対象から除外）としており、助成額は1件につき原則として単年度200万円以内、1つの研究テーマに対する研究開発助成は2ヶ年を限度としている。2020年度の審査委員は表1のとおり。

募集の詳細については、募集開始の8月1日よりJICEホームページに、実施要綱を掲載するので、是非ご覧いただき、積極的な応募をしていただきたい。

表1 2020年度の審査委員

	氏名	所属
委員長	甲村 謙友	(一財)国土技術研究センター 理事長
委員	池淵 周一	京都大学 名誉教授
委員	石田 東生	筑波大学 名誉教授
委員	岡田 恒男	東京大学 名誉教授
委員	進士 五十八	福井県立大学 学長
委員	土岐 憲三	立命館大学 特別研究フェロー
委員	森地 茂	政策研究大学院大学 客員教授
委員	野田 徹	(一財)国土技術研究センター 理事
委員	川崎 茂信	(一財)国土技術研究センター 理事

4 第20回研究開発助成 成果報告会

研究開発助成を受けて研究を実施した研究成果については、先進的な知見をより多くの皆様に役立てていただくために、例年、発表の場として研究開発助成成果報告会を開催している。

2018年度に採択され、2019年度に研究を実施した12件(表2)の研究成果の報告については、新型コロナウイルス拡散防止の観点から、例年の報告会の開催は中止とし、JICE ホームページに掲載することで成果報告とした。

これらの研究の成果概要、発表資料については以下のJICE ホームページの研究開発助成事業に掲載しているので、あわせてご覧いただきたい。

(<http://www.jice.or.jp/review/assistances/results/20th>)

表2 第20回研究開発助成成果報告(2018年度採択研究)研究課題一覧(敬称略)

	研究課題名	研究者名		研究課題名	研究者名
1	大規模被災地の復興過程における逐次バスネットワーク再編計算技術に関する研究	芝浦工業大学 工学部 土木工学科 岩倉 成志	7	内部浸食による堤防構成土の劣化に関する研究	東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 高橋 章浩
2	無人化施工におけるCognitive Tunnelingを防止可能な視覚提示手法の構築に関する研究	早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科 岩田 浩康	8	平常時及び災害時の貨物輸送の時間価値計測に関する新たな手法の提案	神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻 小池 淳司
3	画像ベースの振動計測技術を活用した、耐震補強が必要となる都市内高架橋上の照明柱の同定抽出法に関する研究	横浜国立大学 先端科学高等研究院 藤野 陽三	9	まちの魅力づくりに貢献する舗装デザインに関する研究	一般社団法人 インターロッキングブロック 舗装技術協会 中村 俊行
4	大規模広域自然災害発生時の交通マネジメントの検証と今後の展開に関する研究	呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 神田 佑亮	10	滞留行為を可能にする「生活道路マスタープラン」策定の検討	日本女子大学 家政学部 住居学科 薬袋 奈美子
5	メタ概念を導入した治水計画に関する研究	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 瀬木 俊輔	11	セメント系改良地盤の効率的な品質評価手法に関する研究	大成建設株式会社 技術センター 社会基盤技術研究部 地盤研究室 石井 裕泰
6	堤防破壊危険性評価と洪水流・氾濫流解析に基づいた流域水害リスクの分析と被害軽減策に関する研究	中央大学 研究開発機構 田端 幸輔	12	電子放出菌と導電性下水管による戦略的な下水道の長寿命化に関する研究	山口大学 工学部 循環環境工学科 今井 剛

(2020年3月末時点の役職)